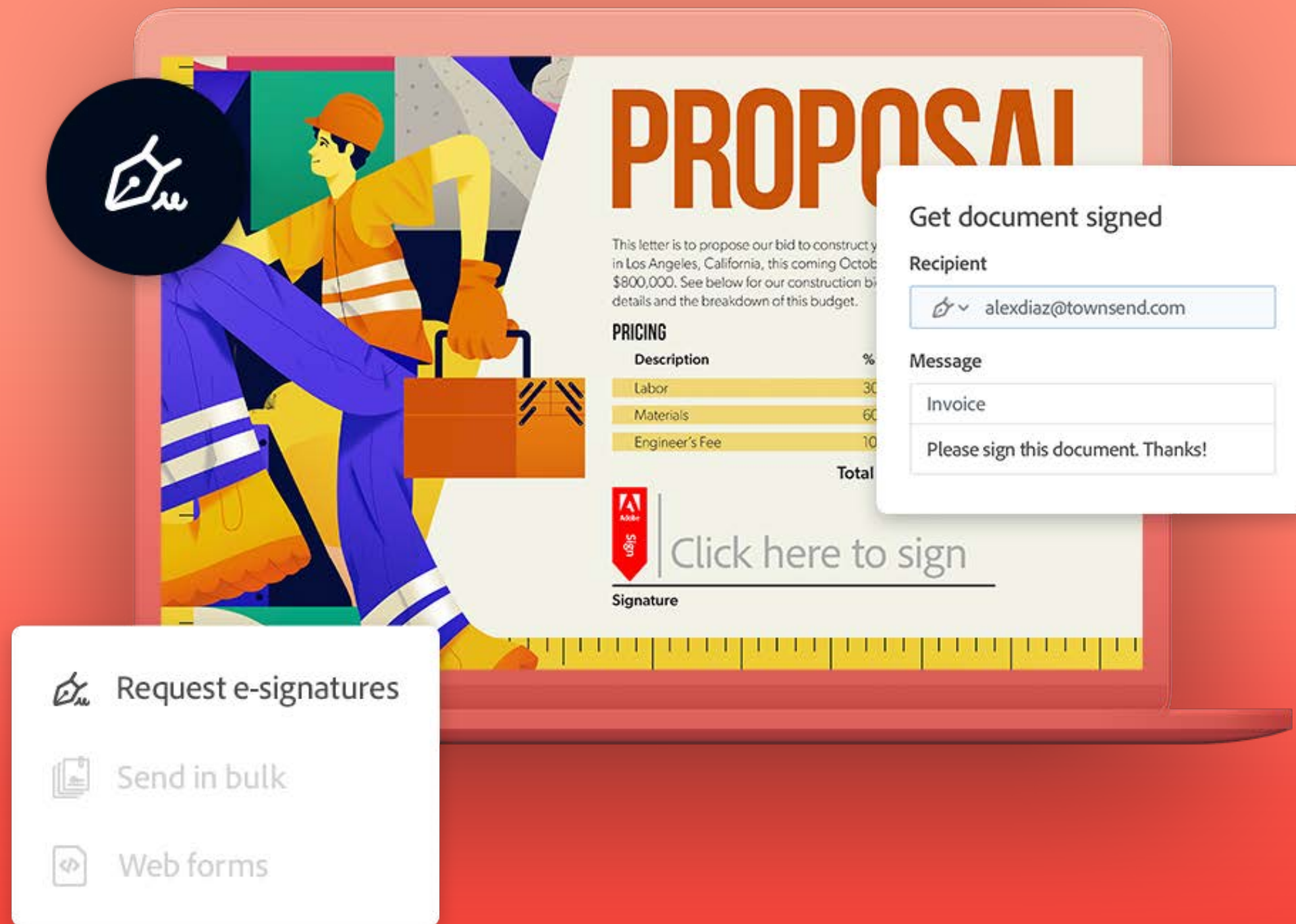




文書を自動化して収益を向上

アドビと Microsoft によるスマートな文書業務のデジタル化戦略

近年の急速なデジタルトランスフォーメーションにより、企業の経営方針に対する期待が恒久的に変化しており、お客様も従業員も、より直観的で安全な文書業務のデジタル化によるより良い体験を求めるようになっていきます。その結果、電子サインソリューションをはじめ、デジタル文書の共同作業やセキュリティなど、あらゆるサポートに対する投資がおこなわれてきました。

しかし、景気の不透明性が拡大している今、文書のデジタル化の進歩の減速が懸念されており、組織のデジタル化への投資を推進したいIT管理者や経営者はこの投資の継続の判断に直面しています。同時に、際限なくおこなわれる規制の変更、限られた条件下で絶えず進化するソリューションを評価しなければならない状況、日常業務を中断させてしまう急なメンテナンスなどにより、この継続的な投資がさらなるコスト増による経営状況を圧迫する可能性があります。

しかし、支出を大幅に削減すれば、他社との競争に後れをとる危険性があります。アドビが委託した2023年のPfeiffer Reportによると、Acrobatによる累積的な生産性の向上により、ユーザー1人あたり毎年数千ドルのROIがもたらされると推定されています。旧来の文書プロセスが非効率性と企業リスクを生む場合、投資を怠ると多大なコストがかかります。

Microsoft Power Automate と Power Apps の環境にアドビのコネクタを使用して、文書ワークフローを強化します。

- ・ Microsoft SharePoint で選択したファイルを署名用に送信し、署名済み文書を自動的に保存
- ・ 承認されたユーザーが他のユーザーに代わって代理で送信
- ・ データと Azure AD プロファイルにもとづいて、署名用に文書を動的にルーティング



幸い、新たな自動化テクノロジーにより、あらゆる規模の企業で、面倒でミスの起こりやすい手動プロセスを効率性が高く安全なデジタルワークフローに変換することが、かつてないほど容易になりました。この大きな変革を推進しているのが、クラウドベースのAPI（アプリケーションプログラミングインターフェイス）です。これらの強力なソフトウェアインターフェイスは通常、コストのかかるIT開発サービスやサードパーティの統合アプリを必要とする複数のアプリを接続します。クラウドベースのAPIは既存のテクノロジーと簡単に統合できるため、ローコードでビジュアル主導のソリューションが可能になります。すぐに利用でき、メンテナンスも必要ありません。

このeBookでは、Adobe PDF Services APIとMicrosoftの生産性向上アプリの統合により、組織の文書プロセスに優れたセキュリティ、標準化、自動化を導入できるようにする方法について詳しく説明します。多くの場合、ローコードまたはノーコードで実現可能です。組織が既に投資していると思われる使い慣れたツールを使用しながら、手動プロセス、自動プロセス、ハイブリッドプロセスの全域にわたって文書ワークフローをデジタル化してカスタマイズできます。

簡単に導入できる エンドツーエンドのソリューション

今日の組織が直面しているデジタル文書ワークフローの課題は複雑で、単なる穴埋めだけでは済まない、総合的な統合ソリューションが求められています。Adobe Document Cloudを使用すれば、組織はデジタル文書のライフサイクルのすべてのポイントで、スピード、セキュリティ、拡張性を向上することが可能です。

Adobe PDF Services APIは、この大規模なエコシステムの重要なコンポーネントであり、LEGOブロックのように機能するため、既存のテクノロジースタックとの拡張や統合が容易にできます。APIによって複数のアプリを接続し、冗長なタスクを自動化することで、組織の最も貴重なリソースである人材の可能性を最大限に引き出し、機械では真似できないような影響力の大きい戦略的作業に集中できるようにします。

「人間はロボットになることを好みません。同じことを何度も繰り返す作業も好みません。私たちはもっと賢い生き物であるし、人間の才能にはもっと価値があります」

Ben Vanderberg、アドビのプリンシパルプラットフォームエバンジェリスト

API対応の自動化により、かつてない拡張性が実現します。「アドビでは柔軟なクラウドサービスを提供しています」。アドビのプリンシパルプラットフォームエバンジェリストであるBen Vanderbergはこのように説明しています。

APIを利用した自動化ワークフローは、時間の節約だけでなく、人為的ミスを減らし、新しいレベルの標準化を導入して政府規制への準拠を確保するためにも重要です。これには、パスワード保護の追加や、権限のないユーザーによるPDFの印刷や編集の防止など、重要なワークフローにおいて文書セキュリティを組織全体で標準化する機能が含まれます。

企業の成長に伴い、サイロ化したデータも増加します。APIはこのような情報の障壁を取り除き、ユーザーが様々な場所からデータを取得して、カスタマイズ可能なテンプレートを使用して新しい文書を迅速に生成できるようにします。特筆すべきは、これらを実行するために必要なAPIはすべてローコードで開発が可能なため、チームリーダーは開発と展開に関して、より効果的に人材の最適化をおこなうことができるという点です。

API と統合によって 文書プロセスを 自動化する方法

Adobe PDF Services API のポートフォリオには、生産性の向上を可能にする 15 以上の API が含まれています。

- Power App フォームと Microsoft Word テンプレートから文書を生成して、署名用に送信
- SharePoint 上の PDF を Microsoft Excel に変換
- PDF のコンテンツを JSON、XLSX、および PNG に抽出
- PDF に自動的にタグを付けてアクセシビリティを向上
- セキュリティ制御を適用して表示と編集を制限

次のページのユースケースでは、アドビと Microsoft が、カスタマイズされた文書プロセスを通じてどのように効率化を支援しているかを紹介しています。

AI の機能を活用して重要な課題に 取り組む時間を増やしましょう。

Adobe Sensei の AI 技術を活用したサービスを使用することで、組織はフォームベースのプロセスを促進し、ミスを減らして、戦略的なタスクに時間をかけることができます。

- 文書分析にもとづいてフォームフィールド認識を自動化
- スキャンした文書を自動クリーニング
- ネイティブ PDF およびスキャンされた PDF からコンテンツを自動的に抽出
- 自動タグ付け機能でアクセシビリティを大幅に向上

ユースケース1：文書の生成

請求書、契約書、その他のフォームを新たに作成するタスクは、どの部門のチームにとっても特に深刻なボトルネックとなる可能性があります。Adobe Document Generation APIを使用すると、様々なソースからデータを取得してカスタマイズ可能なテンプレートに組み込むことができるため、高速で信頼性が高く、ミスのない文書ワークフローをすばやく構築できます。

APIが持つ[時間節約の可能性](#)を既に活用しているのは、アドビの法務部門です。弁護士のチームは、Acrobat Sign APIとAdobe Document Generation APIを併用し、契約書の自動生成や承認フローにより75%多くのセールス契約を処理。これらの契約の締結にかかる時間を273%短縮しました。

「Adobe PDF Services APIのおかげで、20年前に非効率な手作業で行っていた業務を自動化することができます」とアドビ法務顧問室のシニアディレクター、E. A. Rockettは語っています。「私たちは企業文書の第一原理、つまり、弁護士が営業担当者とやり取りし、様々なシナリオに対して選択肢を提供していた20年前の方法に回帰しつつあります」

文書を作成後、弁護士にとって最も時間のかかる作業は文書のレビューです。幸いにも、APIによって取引のライフサイクルをさらに短縮するための主要なパターンを特定できるため、このプロセスの簡素化にもつながります。

「Adobe PDF Services APIのおかげで、20年前に非効率な手作業で行っていた業務を自動化することができます。私たちは企業文書の第一原理、つまり、弁護士が営業担当者とやり取りし、様々なシナリオに対して選択肢を提供していた20年前の方法に回帰しつつあります」

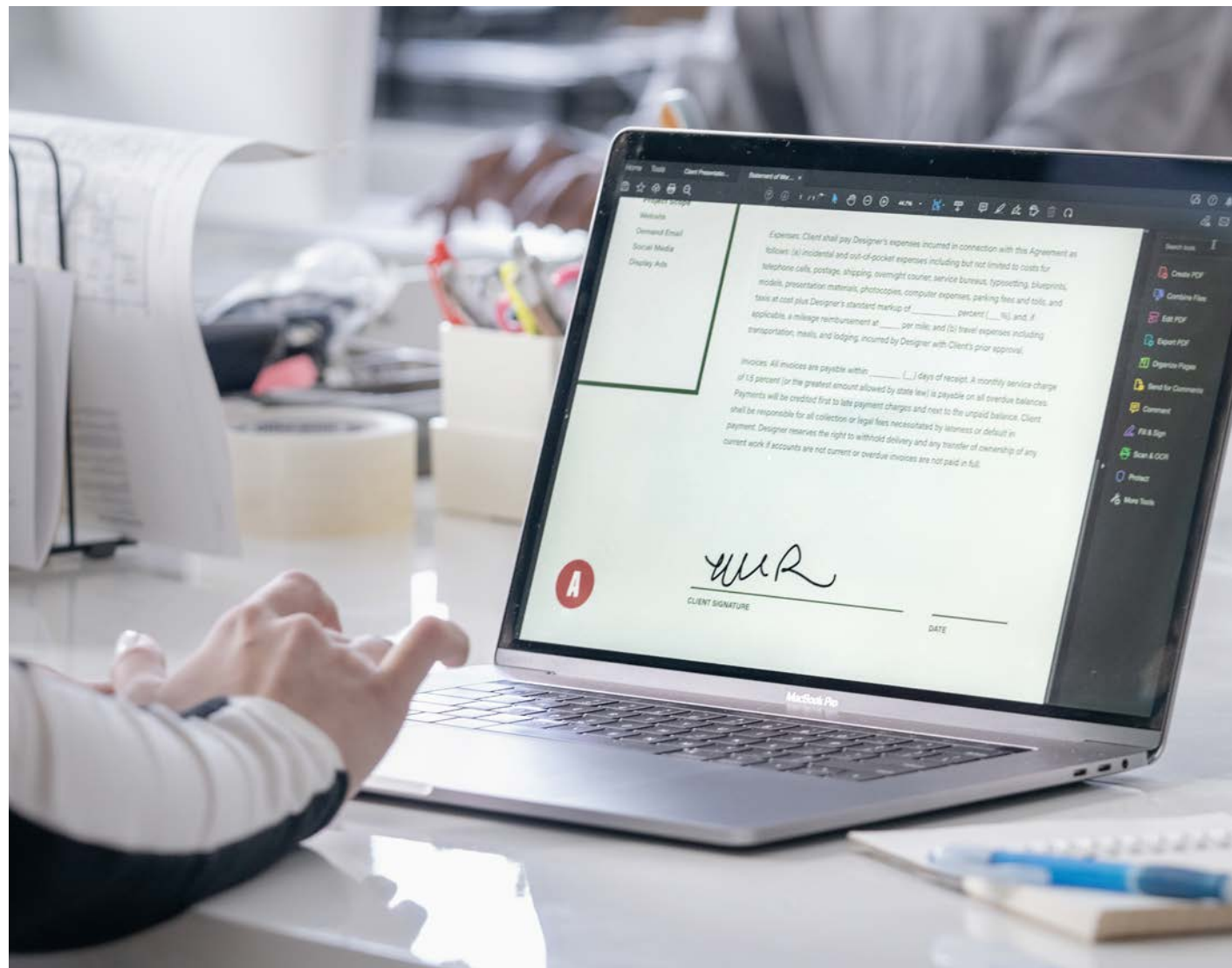
E. A. Rockett、アドビ法務顧問室のシニアディレクター

「1,000件以上の契約をレビューしたところ、法的審査中に同じ条項が何度も精査されていることに気づきました」とRockettは言います。「特定の条件が満たされた場合に、その条項を自動的に削除するチェックボックスを営業チームに提供できれば、何千ものチケットと何千時間もの弁護士の作業負担を削減できると判断しました」

Adobe PDF Services APIとMicrosoft Power Automateを使用すれば、Microsoft WordやExcel、Microsoft Formsのデータなど、使い慣れた生産性向上ツールから文書を自動生成できます。

ユースケース2：電子サイン

電子サインは、今日のデジタルファーストの世界において、ビジネスの原動力となっています。これは、予算の承認を求める財務部門だけでなく、新しい人材を採用する人事部門にも当てはまります。ただし、すべての署名業務の電子化が同じように作られるわけではありません。Acrobat Sign APIを使用すると、チームは電子サイン機能をモバイルアプリ、webサイト、その他のプラットフォームにシームレスに統合して、最大限にカスタマイズできます。例えば、Microsoft Teamsなどの生産性アプリから署名用に文書を送信できます。



人材派遣テクノロジー企業のAviontéにとって、摩擦のないデジタルエクスペリエンスを確保することは、自社のビジネスのためになるだけでなく、自社のビジネスそのものです。1,000社を超える顧客と25,000人のユーザーを抱える同社は、拡張性があるだけでなく、使いやすく安全で、コンプライアンスに準拠した電子サインソリューションが必要であることを認識していました。

現在、Acrobat Sign APIは同社のテクノロジープラットフォーム全体に組み込まれており、顧客はこれを使用して、従業員やその他の関係者から文書を取得します。APIにより、あらゆる段階で明確な監査証跡が生成されるため、真正性に疑問を残すことはありません。

しかし、人事に携わったことがある人なら誰でも知っているように、適切なタイミングで適切な署名を取得することは容易なことではありません。文書のワークフロー効率を本当の意味で向上させるには、ユーザーがフォームの進捗状況を一目で追跡できるようにする必要があります。Acrobat Sign APIを使用すると、電子サインプロセスから収集されたすべてのデータがAviontéのシステムに直接フィードバックされるため、採用担当者はすべての契約をリアルタイムで確認できるようになります。

同社のパートナーシップ担当バイスプレジデントのScott Poeschl氏は、時間の節約という点で、同社の顧客には「驚異的」な効果があり、多くの企業が業務量を増やすことができたと言っています。

「そしてそれがAviontéにとって重要な点です」と同氏は言います。「お客様に利益があれば、私たち全員の利益となるのです」

ユースケース3：データ抽出

PDFから情報をマイニングするのは、時間がかかることが多く、面倒なプロセスです。表や改ページがあるため、プロセスを支援するために設計されたツールの多くが混乱してしまいます。Adobe Extract APIでは、最先端のAIとMLを活用して、これらの視覚的なハードルを乗り越え、あらゆるPDFを使用可能なJSONまたはXLSXデータにすばやく変換します。署名された契約書、テスト、報告書などの文書から抽出されたデータを利用して、新しいファイル形式に変換できます。

このツールがAI Singaporeにとっていかに重要であるかがわかったのは、金融サービス分野の多国籍企業であるクライアントが、PDF形式の様々な報告書やパンフレットからテキストを抽出するための抽出ツールを使用した後のことです。同社のチームは、他のPDF抽出ツールを使ってこのジレンマを自社で解決しようとしたましたが、結果は散々なものでした。

プレッシャーが高まるなか、チームはAdobe Extract APIを試してみることにしました。

「結果は驚くべきものでした」と、解決策を見つける任務を負ったチームの次長であるSiavash Sakhavi氏は言います。最終的に、チームはAdobe Extract APIを使用することでスケジュールの遅れを取り戻し、予定の時間のほぼ半分でプロジェクトを完了することができました。



APPLICATION
for employment

NAME
First name Last name

EMAIL PHONE NUMBER

EARLIEST POSSIBLE START DATE

UPLOAD RESUME

ユースケース4：デジタルコンテンツの パブリッシングとレビューのプロセス

今日のオフィスワークとリモートワークが混在するハイブリッドな職場では、PDFの確認やレビュー、コメントの共同作業を簡素化することが必要であり、Adobe PDF Embed APIがあればそれを実現できます。クリエイティブからセールスに至る様々なチームが、このツールを使用して最高品質のレンダリングでPDFを共有し、文書内で直接フィードバックをおこなっています。PDFの公開後、ページの滞在時間や検索数などの主要な分析を追跡するAPIの機能により、承認されたPDFは貴重なデータのソースになります。



「Adobe PDF Embed APIがなければ、レビュー用に共有
機能を開発するには2倍の時間がかかったでしょう」

Jeremy Mitchell、アドビのシニアソフトウェアエンジニア

Adobe PDF Embed APIの共同作業機能は、よく使用するInDesign アプリ内でのレビュープロセスを改善する方法を検討していたアドビのエンジニアにとって特に魅力的なものでした。特に、InDesign アプリにアクセスできるかどうかに関係なく、最も複雑なレイアウトであっても、レビュー担当者がコメントできる一般的な形式にする方法を解決する必要がありました。Adobe PDF Embed APIを中心に展開されているアドビのソリューション「レビュー用に共有」は、コメント用の注釈ツールとともに、あらゆるwebエクスペリエンスで高品質のPDFをレンダリングするために使用されています。

「Adobe PDF Embed APIがなければ、レビュー用に共有機能を開発するには2倍の時間がかかったでしょう」。このプロジェクトのシニアソフトウェアエンジニアであるJeremy Mitchellはこのように述べています。一方、エンドユーザーは、最終的に3倍高速なレビュープロセスを享受できます。

ユースケース5：アーカイブと検索

文書ワークフローのデジタル化が進むにつれ、多くのチームが、文書が安全に保管され、適切な関係者による検索や再利用が必要となります。後者は、単に文書を開くことができるだけにとどまりません。PDFから特定の情報をすばやく検索し、詳細な付加情報を簡単に呼び出す機能が必要となります。

Adobe PDF Services APIは、両方の課題を解決するために開発されており、文書のセキュリティと使いやすさを向上させることを目的とした幅広い機能を提供します。その中には、パスワードの追加と削除、PDFの一般的な形式への変換、OCR（文字認識）の使用などのオプションがあります。Microsoft SharePointおよびOneDriveとの統合により、組織はタスクのアーカイブに費やす時間を短縮し、戦略的な優先事項により多くの時間をかけることができます。

例えば、次のような一般的なシナリオを考えてみましょう。多くの契約手続きを抱えるグローバル企業は、それらの文書が規制に準拠していることを確認するために、特定の条項を更新する必要があります。そのために、スタッフはまず関連するすべてのフォームを検索し、次にテキストのロックを解除して、最後に関連するコンテンツを見つけて置換する必要があります。

Adobe PDF Services APIでは、共有ドライブ上に保管された複数のドキュメントに対し、PDF以外のファイルをPDFに変換し、最後にすべてのフォームに対してOCRを実行して検索可能にします。関連する文書が特定されると、スタッフはそれらをデジタル文書に一括変換し、重要なコンテンツを検索して置換し、再びPDF形式に書き出すことができます。

Acrobat Signを主要な生産性アプリと簡単に統合できます。

- ・柔軟なAPIによりターンキー統合が可能。数分でインストールできて、ノーコードで簡単に設置
- ・既存のシステムやアプリから直接電子サイン用の文書を準備して送信
- ・統合されたアプリからリアルタイムでステータス更新を受信し、署名済み契約書のコピーを保存
- ・Microsoft 365、SharePoint、OneDrive、Power Automate、Salesforce、ServiceNow、Workdayなどとスムーズに連携



APIを使用して、 強力で自動化された 文書ワークフローを実現

企業がデジタルトランスフォーメーションのロードマップと景気の不透明性とのバランスをとる必要がある今、テクノロジーによって、組織全体で文書のワークフローを自動化して統合する、より簡単で優れた方法が利用できるようになりつつあります。クラウドベースのAPIは、文書のワークフローを自動化し、組織のエコシステム内の様々なクラウドプラットフォームを接続するための簡単な方法です。また、実装が非常に簡単であるため、チームは限られたトレーニングを受けるだけで、すぐに習得することができます。



Microsoft Power Automate、UiPath、Workfrontとの統合により、アプリとコネクタのエコシステムを使用したローコードまたはノーコードのソリューションがさらに可能になります。これらのローコードプラットフォームは、技術的なコーディング環境ではなく、ドラッグ＆ドロップインターフェイスを備えたビジュアル主導型であるため、開発サイクルを延長することなく自動化されたワークフローを作成できます。

このようなAPIと統合は、Acrobat Pro、Acrobat Sign、Adobe Scanなどの個別の生産性アプリとともに、Adobe Document Cloud エンタープライズ版の一部であり、セールスチームの拠点や職場にツールと機能を提供することで、既存のアプリのワークフローを強化する包括的なソリューションが実現します。これらを活用して、チームのデジタル文書の生成、共有、共同作業をおこない、その価値を引き出しましょう。

なぜなら最終的に、勝てる文書戦略が勝てるビジネス戦略となるからです。

アドビと Microsoft お役に立ちます

信頼できる PDF 作成ツールを生み出し、業界をリードしてきたアドビは、作成からレビュー、承認、署名、アーカイブ、分析に至るまで、プロセスのあらゆる段階で文書のワークフローを再定義し、改善するための包括的な一連の API を提供しています。Adobe PDF Services API と Microsoft の生産性向上ツールとを緊密に連携させることで、お客様のチームは、新しいデジタルファーストの世界で組織のあらゆる目標を迅速かつ効果的にサポートできる体制が整います。

[詳細を見る](#) >

出典：

[“Acrobat Services API Use Cases,”](#) Adobe Developer.

[“Catalysing AI tools and talent,”](#) Adobe customer success story for AI Singapore.

[“Collaborating on creative reviews through any web browser,”](#) Adobe customer success story for Adobe InDesign.

E.A.Rockett, senior director of the Office of the General Counsel, personal interview, Adobe, 2022 年 11 月

[“How Avionté Uses Adobe Acrobat Sign Embed to Make E-Signing Frictionless,”](#) YouTube video, 2:28, posted by Adobe Document Cloud, 2022 年 12 月 8 日

[“Self-service contracts for business users,”](#) Adobe customer success story for Agreement Experience.

[“The ROI of Adobe Acrobat and PDF Document Management,”](#) Pfeiffer Consulting, 2023 年



© 2023 Adobe. All rights reserved.

Adobe, the Adobe logo, Acrobat, the Adobe PDF logo, and Document Cloud are either registered trademarks or trademarks of Adobe in the United States and/or other countries. All other trademarks are the property of their respective owners. 8/23